

中間報告書の書き方

b10xxxxx 未来太郎
指導教員：函館一郎

How to Write Manuscripts for Midterm Report

Taro MIRAI

概要：和文は 300 から 400 文字で記述すること。

キーワード：北海道, 函館, 亀田中野, 公立はこだて未来大学

Abstract: English should be written in 100 to 150 words.

Keywords: Hokkaido, Hakodate, Kamedanakano, FUN

1 背景と目的

このサンプルは情報システムコースにおける中間報告書の様式について説明したものである。必ずしもこの雛形を使う必要はないが、仕上がりイメージはできる限りこの雛形にあわせること。

用紙サイズは A4, 向きは縦とし, 上下の余白は 30mm、左右の余白は 25mm とする。本文には明朝体と Times New Roman を用いる。ただし, タイトルや章節の見出し, 図表のキャプションはゴシック体とする。タイトルは 14 ポイント, 氏名と章の見出しは 12 ポイント, 節の見出しは 11 ポイント, その他は 10 ポイントとする。また, 和文タイトルから英文キーワードまでは 1 段, 本文は 2 段で構成とし, 1 段のセクションは 42 文字× 45 行, 2 段のセクションは 20 文字× 45 行とする。

なお, 章立てはあくまでも参考であり, これに限らない。

2 関連研究

中間報告書の文量は 4 ページとする。学籍番号をファイル名とした PDF ファイル 1 つにまとめた形で作成すること。提出するファイル名は b10xxxxx.pdf とする。

句読点は「,」「.」とする。「,」「.」は使用し

ない。アブストラクトなど英文表記の部分については, スペルチェックプログラムによるチェックをする。

3 提案する理論

3.1 数式

数式による記述が必要な場合は, 式番号を適切に参照しながらまとめること。

3.2 図・写真

読者の理解を助けるため, 図や表を効果的に利用すること。図のキャプションは

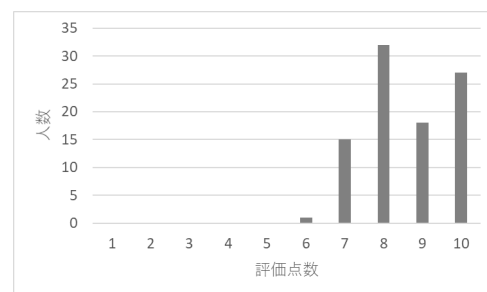


Fig. 1 Prott で作った画面遷移図

のように, 図の下に記す。表のキャプションは

表 1 ○○○○

のように, 表の上に記す。

4 実験と評価

5 考察

6 結言

参考文献

- [1] ○○△△, システム情報科学会論文誌, 2, 13-19, 2002.
- [2] A.B.Cdddddd, J. Systems Information Science, 11, 1145-1159, 2001.
- [3] ○○×× , □□△△, システム情報科学, ☆☆出版, 1999, 20-21.
- [4] E.Fggg and H.Ijjj, Electrical Engineering, KKPress, 2003, 281-284.